

国際ロータリー第2560地区  
ガバナーテーマ

ロータリーで良いことをしよう

高田ロータリー  
今年のスローガン

変化を楽しもう



ロータリーは機会の扉を開く

2020～2021年度

国際ロータリー会長 **ホルガー・クナーク**  
2560地区ガバナー **佐藤 真**  
高田ロータリー会長 **大島 誠**  
幹事 **伴 長門**

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号  
TEL (025)526-3288 FAX (025)526-3534  
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp  
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025)526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員会：  
齋藤 尚明・飯塚 宏佳・佐藤 信・川崎 直哉・齋藤 俊幸

第 25 回例会 ◆2月5日(金)

No.25

会長挨拶 ●大島 誠



皆さんこんにちは。お元気ですか？

渡邊隆さんも元気に復活され、何よりです。

さて、先週もお話をさせて頂きましたが、大勢の人数での懇親会等が自粛される中、新年祝賀会も出来ず、また今月予定していたオークションも出来ずとリアルな交流が深められず、残念な状況が続いています。また、来月にはP E Tが予定されており 次年度の活動が始まる中 今年度の委員会活動も十分に出来ない状況だと思ひます。そこで 本日臨時理事会を開催させていただき、首都圏の緊急事態宣言も解除になっているであろう3月12日の例会を委員会ごとの分散夜例会とすることにいたしました。出席の状況もありますので 複数の委員会合同でお願いする委員会もあると思ひますが、今年度の活動を振り返って頂きながら6月までの委員会活動の見直しをお願いしたいと思ひます。また、委員会の任意ではありますが、利用する会場にコロナ対策をお願いし、短時間の食事会を合わせて行っていただければどうかと思ひます。クラブからお出しできる費用は 例会費用分のお一人2000円と委員会費の一人3000円、あわせてお一人5000円です。後は委員会ごとの判断にお任せしたいと思ひます。

今年度の活動テーマは「変化を楽しもう」です。従来とは違った形の例会になりますが、挑戦してみたいと思ひます。

出席報告

92.02%

メイクアップ



齋藤尚明君  
(2/3 新井妙高 RC 卓話)

セレモニー

ポールハリスフェロー表彰：高坂光一君、堀井靖功君  
米山功労者表彰：大谷光夫君、佐藤憲二君、  
石倉 悟君、箕輪賢一君、佐藤 信君





米山記念奨学金贈呈：周 勝男さん

親睦委員会： 2月のお誕生日各お祝い



## 委員会報告

国際奉仕委員会：グローバル補助金報告書のホームページアップのお知らせ

ロータリー財団委員会：寄付のお願い

## 幹事報告

配布物：週報No.24、ロータリーの友2月号、寄付金領収書

報告：次週2月12日は祝祭日振替休会日

## 卓話

### 小林古径記念美術館の今とこれから

小林古径記念美術館・歴史博物館館長 宮崎 俊英 様



- ・一晩で1m積った1月9日、積雪を想定して設計した新美術館は大丈夫でした。
- ・12月に突然発表された県立9文化施設の民営化への協議開始のニュース。いずれ市立美術館、博物館にも波及してきそうです。一方2019年の豪雨で収蔵庫が水没し、資料が被災した川崎市民ミュージアムが指定管理で資料管理の責任が問われています。このような状況の中、人々の意識の中に 博物館・美術館が確かに存在するか。必要とされる教育施設であるために何をしなければならないか。これが問われているのだと思います。

私は、博物館・美術館が目指す方向として、かけがえのない文化財（市民の財産）の調査研究・公開（展示）、教育はこれまで通り直営で行い、管理、サービス、広報は、専門的ノウハウを有する民間に委託するというベストミックスを模索することが必要だと考えます。

- ・さて、歴史博物館、美術館では、昨年より無印良品と新たな取組を行なっています。

より多くに市民に見て欲しいという願いから店内に民具を展示したり、展覧会を開催したりしています。民間との新たな取組はこれからも進めていきたいと思っています。

最後に来年度の美術館の展覧会を紹介します。

春は「古径と院展の作家たち」、夏は彫刻家岩野勇三生誕90年展、秋に「永青文庫日本画名品展」を開催し、古径作「髪」（重要文化財）を展示します。冬には「白の世界展」を行います。

目と心に形と色彩の栄養を！皆様のご来館をお待ちしています。

